

## 第4期事業報告書

(令和3年5月1日から令和4年4月30日まで)

特定非営利活動法人結ネットたんぽぽ

### 1 事業の成果

本法人の目的及び事業に対する社会の要望に応えるため、第四期においては高齢者等の常設居場所『おしゃべり日和』運営と『集落居場所』の運営・支援、さらに週末の日中にも本をツールに気軽に立ち寄れる場所づくりとして『週末もおしゃべり日和』を新設し、それぞれの居場所でのふれあい活動を中心に、ちょっとした困りごとを支え合いながらの活動を行った。コロナ禍ということで、予定していた行事を中止せざるを得ない状況もあったが、感染予防対策に努めながらできる事はしっかり取り組んだ。

また、行政や社協、関係機関等から呼びかけのあった会議や研修の場にも積極的に参加し、支え合い推進、介護・認知症予防に対する知識・技術の向上に努めるとともに関係者等との情報共有を行うことができた。当期も五ヶ瀬町から生活支援コーディネーター業務と介護予防推進員業務を受託し、それぞれの立場で各業務の遂行に努めた。

### 2 事業内容

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 常設居場所事業：ふれあい施設にて

ア 平日の週5回開所。コロナ禍ではあるが、多くの高齢者等が足を運び、折り紙や手芸、パズル、ビー玉ゲーム、読書、歌、体操などで思い思いに過ごされた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月と3月に一時閉所期間を設け、開所時も密を避けるため座席数の調整や消毒、換気、予防啓発のチラシ等を作成、配付するなど感染予防対策を行った。

子育て支援センターや商工会との交流事業は感染対策を行いながら実施することができ、平時とは異なる多世代との楽しい交流の機会を提供することができた。

特産センターの移動販売と町立図書館の移動図書「きとらす号」にも立ち寄っていただき、利用者の楽しみの一つとなっているが、特産センター移動販売については9月以降中止となったことで高齢者の楽しみの機会が一つ減っている。

当期も居場所利用時の買い物、病院受診、薬局、予防接種、行政手続等の支援（移動支援含む）を行うとともに、認知機能の低下が現れてきた方について、行政や社協、病院、郵便局、コミバス運転手、家族と情報交換して対応した。さらに今後の支援方針を話し合う機会を設けてもらうなど関係機関（者）との連携を積極的に行った。

なお、今期も常設居場所への運営協力として、菓子、茶、折り紙、本、野菜、果物、花、除菌シート、タオル、チリ入れ、トイレットペーパー、衛生用品、しめ縄等多くの方から支援をいただくとともに、1名の運営協力加入もありました。

◎開所日：週5回（土、日、年末年始、祝日を除く）

228回 延べ利用者1738名

※2月15日～2月22日、3月4日～3月11日は感染症拡大防止のため閉所

- \* 7月7日：子育て支援センターとの合同七夕交流
- \* 7月21日：ピエロ交流（子育て支援センターのご厚意）
- \* 11月10日：子育て支援センターとの合同運動会
- \* 12月16日：商工青年部サンタクロース交流
- \* 1月7日：介護予防運動教室参加（高齢者4名）
- \* 1月12日：宮崎医科大学生1名受け入れ
- \* 1月21日：介護予防運動教室参加（高齢者3名）
- \* 1月26日：宮崎医科大学生1名受け入れ
- \* その他：役場新庁舎見学、バイオリン演奏会見学、桜見学、資料館特別展見学、夕日の里作品展への展示作品づくり、四季折々の装飾ほか

#### イ 集落居場所運営・支援

月1回開催の集落居場所については、前期同様7箇所を運営。集落行事や感染症拡大により中止した月もあったが、それぞれの居場所で様々な工夫を凝らしながら楽しく過ごすことができた。また、認知機能の低下があり自宅にこもりがちな高齢者を訪問し、本人や家族から話を聞くなどして、本人の居場所利用につながったケースもあった。

- \* 牧の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 内の口の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 長迫の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 寺村の居場所…月1回（9時～15時）
- \* 4区居場所「お茶飲もや」…月1回（13時30分～15時）
- \* 12区居場所「なかよし」…月1回（9時30分～14時）
- \* 本屋敷の居場所「よこいび」…月1回（9時～11時30分）

#### ウ 週末の居場所新設

高齢者のみならず、本をツールに世代を超えて緩やかにつながる場（機会）を創るため、ふれあい施設を活用して毎月第1、第3土曜日に『週末もおしゃべり日和』を9月に新設した。平日の利用ができない児童生徒にも活用してもらうことを意図しているが、周知が不足していたことに加えて、町内での感染拡大により、外出や活動に制限があり12月の交流イベント時以外は利用少なかった。今後は改めてチラシを作成して児童生徒、保護者、関係者に直接配付して活用につなげたい。

◎開所日：第1、第3土曜日：午後1時～午後3時半

9回 延べ利用者27名

#### エ 新たな集落居場所の開設支援

- \* 第2区からの開設希望に対して現在関係者等と協議を進めている

## ② 見守り事業

ア ひとり暮らしや高齢者世帯の見守りによる、異常の早期発見、早期対応はもちろん、住民や行政から情報、相談が入った際は、できるだけ早く訪問して当事者や家族に直接会って話を聞くなどの対応を行い支援に繋がった。

## ③ 助け合い事業

ア 支え合い活動支援

＊社会福祉協議会と地域福祉委員会（みごかせ会）主催の会議や「加勢の日」（高齢者宅訪問等）への参加、オリジナルカレンダー作りと高齢者宅への個別配付に協力した。

・7/5、8/5、8/7、11/8、12/4、2/14、3/23

＊廃校校舎を拠点として住民主体で支え合い推進を進めている鞍岡地区での協議や活動の場に参加し支え合い推進の啓発を行った。

＊鞍岡地区住民から有償ボランティア立ち上げの声があり勉強会開催を支援した。

当日は、有償ボランティアにこだわらず、これからの支え合い推進の考え方を、初鹿野聡氏（みんなの暮らし支え合い協議会事務局長）をアドバイザーに迎えて参加者全員で考え、意見交換ができた。

※感染拡大もあり参加者は少人数でアドバイザーはリモート参加

・3月3日（木）13：30～15：30（住民6名、福祉課2名）

・3月16日（水）13：30～15：30（住民5名、福祉課2名）

・3月17日（木）19：00～20：30（住民7名）

＊関係機関による移動販売に関する協議への参加

・12/2、12/17、1/14、3/14

＊会員に相談が入った高齢者宅の荷物の整理、清掃、移動支援等について、相談者の話を聞き、内容によって支え合いの仲間での支援や、有償ボランティアに繋げるなど支援した。

## ④ 情報発信事業

ア 当期は法人設立後初めて「たんぼぼ通信」を作成し、当法人についての情報や活動内容を紹介した。フェイスブックでは、当法人の活動のみならず、町内各地での住民活動も積極的に発信し、生活支援コーディネーター便りも全世帯に3回配付した。また、町主催の地域ケア会議やボランティア連絡協議会へも当法人から出席し、専門職や事業所等へも発信した。

## ⑤ 異世代交流事業

### ア あいであ広場開催

町の将来、町の課題を中高生の視点も交えて一緒に考え行動する場として月1回開催している「あいであ広場」は感染拡大を受け6回のみで開催となった。当期は、五ヶ瀬中等教育学校生と協議、計画した「佐伯光男さんに戦争体験のお話を聞く会」と「赤谷河川敷をきれいにするための現地確認」を実施・支援した。

### イ 読書交流会（仮称）の開催 ※感染症拡大により未実施

## ⑥ 認知症、介護予防事業

### ア 訪問活動

今期も町から受託を受けた介護予防推進員が主となって、おしゃべり日和や集落居場所はもちろん、集落、世帯への訪問も行いながら積極的に予防活動に取り組んだ。町から要請のあった小学校での認知症サポーター養成講座では、寸劇を演じて児童や先生方に認知症について分かり易く啓発することができた。また、推進員が訪問できない集落居場所については、個々の担当が予防に繋がる体操やゲーム、情報提供等を取り入れて活動した。

### イ 五ヶ瀬版ラジオ体操の推進

前期に制作した五ヶ瀬版ラジオ体操をおしゃべり日和や集落居場所で活用して推進をした。

### ウ 介護予防サポーター養成講座で習得した予防体操を活用して推進

当期も町が年間を通して養成している養成講座、ステップアップ講座、フォローアップ講座に4名の会員が参加して、それぞれの活動の場において、習得した予防体操を推進している。また、他の受講者と協力して体操プログラムの作成と実技研修にも積極的に参加した。

## ⑦ 広域連携事業

### ア みんなの暮らし支え合い協議会活動

当法人は支え合い活動の経験が浅いため、住民が主体となった「助け合い・支え合い」の仕組み創出のため、日常的にSNS等を活用しても情報交換、意見交換以外に、協議会主催の勉強会の場に参加して経験豊富な構成団体等から貴重な学びを得ることができた。

\* 12月9日：支え合い推進勉強・情報収集（宮崎市：協議会事務所）

\* 4月29日：勉強会及び情報交換会参加（都農町：都農ふれあいの居場所）

## ⑧ 研修等事業

### ア 学びの場への参加

支え合い推進のため、町内外の様々な組織が主催する研修会、会議、シンポジウム、講座、意見交換の場に積極的に参加した。当期はリモートでの参加が可能な研修もあり学びの機会は増加した。

- ・町ボランティア連絡協議会（防災ボラ連協含む）（6/8、11/21、1/19）
- ・NPO 研修：リモート（6/24、6/25、7/15、1/28）
- ・SC 研修：リモート（6/30、8/20、9/21、9/27、9/28、10/12、11/2、12/1、12/16、12/21）
- ・北海道 SC 養成研修事例発表（8/30～8/31 リモート）
- ・いきがい助け合いサミット in 神奈川（9/1～9/2 リモート） ほか

### イ 学びの場の創出

当期は住民の命に関わる防災・減災の意識向上のための取り組みとして、鞍岡地区において整備した避難所開設時の連絡体制表を配付し、体制の強化推進を行いながら防災・減災を意識する機会を創出した。また、当地区での支え合い推進のための勉強会を実施した。

- ・鞍岡地区防災・減災の活動（5/10、5/12、6/10、6/21、6/24）

## ⑨ その他理事会で実施を決定した事業

実施なし

## （2）その他の事業

実施なし